

厚生労働省  
群馬労働局発表  
平成29年10月31日

【照会先】

群馬労働局労働基準部健康安全課  
課長 佐藤 寿  
課長補佐 大友 隆  
産業安全専門官 塩野 泉  
労働衛生専門官 茂木 智  
(電話) 027-896-4736

## 平成29年(1月～9月)の労働災害発生状況

－ 死傷者数1,462人・死亡者数13人 －

### 1 労働災害の発生状況 (参考資料:「労働者死傷病報告受理件数表」「平成29年死亡災害事例」)

群馬労働局管内における平成29年の労働災害による休業4日以上死傷者数は、1月から9月までの累計で1,462人、そのうち死亡者数は13人となっています。

【昨年同期に比較した特徴】

- ・ 死傷者数は168人減少 (昨年同期の1,630人より10.3%減少)
- ・ 死亡者数は1人増加 (昨年同期は12人)
- ・ 熱中症による災害7人 (STOP!熱中症クールワークキャンペーン期間中)  
(昨年同期7人)

### 2 死亡災害の発生状況

8月から死亡災害が多発し、10月においても一酸化炭素中毒が原因とみられる死亡災害が発生しています。(参考資料:「一酸化炭素中毒による労働災害発生状況」)

### 3 労働災害の防止に向けた取組

①死傷災害全体の防止について

- ・ 県内10地区で開催された産業安全衛生大会において、事業者へ、労働災害防止のための取組の徹底を指導しています。

②死亡災害の防止について

- ・ 頻発する死亡災害の動向・特徴を踏まえ、挟まれ災害の防止ほか労働災害防止対策の徹底について、関係団体への緊急要請を行いました。

(【再掲】参考資料:平成29年9月29日プレスリリース)

- ・ 建設工事に関係する一酸化炭素中毒による死傷災害の多発を踏まえ、一酸化炭素中毒予防の取組強化について、関係団体への緊急要請を行いました。

(参考資料:「一酸化炭素中毒による労働災害防止の取組強化について(要請)」)

# 平成29年 労働者死傷病報告受理件数表

平成29年9月末現在  
群馬労働局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製造業		1	1		2		1		5	2	3
		85	159	28	134	19	27	2	454	539	-85
	食料品製造業	28	56	4	26	8	8	2	132	165	-33
鉱業			2					1	3	2	1
建設業		42	40	13	32	10	5	9	151	153	-2
	木造家屋等建築工事	12	12	3	3		1	2	33	30	3
交通運輸・貨物取扱業		40	104	11	48	3	6	7	219	247	-28
	道路貨物運送業	28	93	10	43	2	5	7	188	205	-17
林業		1							1	1	
		7	1	8		2	1	3	22	18	4
上記以外の事業		161	224	39	104	37	21	27	613	671	-58
	卸売業・小売業	55	67	15	28	9	7	2	183	218	-35
	通信業	12	14	1	4	2	1	2	36	45	-9
	医療保健業・ 社会福祉施設	37	50	10	19	8	7	5	136	118	18
	旅館・ホテル業	2	7			3		4	16	21	-5
計	2	2		4	1	3	1	13	12	1	
	335	530	99	318	71	60	49	1,462	1,630	-168	
前年同期	1	7		2			2	12			
	349	644	103	347	59	84	44	1,630			
増減		1	-5		2	1	3	-1	1		
		-14	-114	-4	-29	12	-24	5	-168		

## 災害の種類別

災害の種類別・署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
転倒災害	63	106	21	64	16	10	11	291	456	-165
食料品加工用機械災害	7	7	1	3	1	1		20	23	-3
建設機械災害	4	6	1	5			2	18	14	4
クレーン・玉掛災害	10	9	1	8		1		29	22	7
外国人の災害	8	34	1	27		2		72	84	-12
公共工事の災害	7	6		2	3		1	21	31	-10
交通労働災害	19	42	7	18	4	6	1	97	93	4
荷主先災害	14	57	6	7		4	3	91	91	

注1 この表は、死亡及び休業4日以上労働者死傷病報告を集計しています。

注2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。

注3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。

# 平成29年死亡災害事例（建設業以外）

平成29年9月30日現在  
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 労働者数	年齢 性別 職種	災害のあらまし	業種	事故の 型別	起因物別
1	1月 11時頃 4人	60歳代 男 作業員	太陽光発電設備設置のための造成工事現場において、立木の伐採作業に従事していた被災者が、胸高直径約30cmの伐倒木の下敷きになっているのを発見された。	その他の 林業	崩壊・倒壊	立木等
2	1月 15時頃 4人	50歳代 男 運転手	軽四貨物トラックを運転していた被災者が、対向車線のセンターラインオーバーの大型トラックと正面衝突した。	一般貨物 運送業	交通事故 (道路)	トラック
3	2月 9時頃 28人	40歳代 男 修理工	自動販売機の修理のため、社用車のバンを運転し首都高速を走行中、前のトラックに視界を遮られ右側に車線変更したところ、すぐ右横にトラックが故障で停止しており、そのまま激突した。	機械 修理業	交通事故 (道路)	トラック
4	2月 8時頃 28人	60歳代 男 作業員	午前7時頃からゴルフ場内の落葉の処理作業をトラクターで行っていたが、その後、行方が分からなくなり、翌日、池の中から遺体で発見された。	ゴルフ場	おぼれ	水
5	4月 17時頃 60人	20歳代 男 作業員	工場内において、派遣労働者と2人でプレス（400t、クランクプレス）加工作業中、被災者が金型内に頭を入れている時、派遣労働者がプレスを起動させ、被災者が頭をプレス機にはさまれ、死亡した。	自動車・ 同付属品 製造業	はさまれ・ 巻き込まれ	プレス機 械
6	6月 13時頃 60人	40歳代 男 作業員	製造した機械装置のメンテナンスのため、同僚と2人で県外の客先へ出張し、調整作業中の機械装置に頭部をはさまれ、死亡した。	機械器具 製造業	はさまれ・ 巻き込まれ	その他の 一般動力 機械
7	8月 2時頃 68人	30歳代 男 作業員	被災者は、製品を自動倉庫（冷凍庫）内に入庫する作業中、走行してきた倉庫内に設置されていたスタッカークレーン（自動棚積み用）と冷凍庫出入り口の固定踏み台との間に身体をはさまれ、死亡した。	肉製品・ 乳製品製 造業	はさまれ・ 巻き込まれ	クレーン
8	8月 5時頃 31人	40歳代 男 運転手	荷の配送のため大型トラックで国道を走行中、交差点で大型トレーラーと衝突し重体となっていたが、約1ヶ月後に死亡した。	一般貨物 運送業	交通事故 (道路)	トラック
9	9月 11時頃 2人	60歳代 男 警備員	国道歩道舗装工事現場近隣の別会社敷地内に駐車してあった無人トラックが逸走し、工事現場内の国道中央付近で一般車両の交通誘導をしていた被災者が、トラックに轢かれ死亡した。	警備業	交通事故 (道路)	トラック
10	9月 10時頃 11人	50歳代 男 作業員	1人で設備の清掃、点検作業をしていた被災者が、ベルトコンベアーとホッパー先端に固定されている原料飛散防止用のゴムカバーの間に、首が挟まれた状態で発見された。死因は出血性ショック。	化学工業	はさまれ・ 巻き込まれ	コンベア

## 平成29年死亡災害事例（建設業以外）

平成29年9月30日現在  
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 労働者数	年齢 性別 職種	災害のあらまし	業種	事故の 型別	起因物別
11	9月  10時頃  5人	40歳代 男 作業員	被災者を含む5名で、空き地の除草作業を行っていたところ、乗用式草刈機を使用して作業を行っていた被災者が、草刈機の下敷きになっているところを発見され病院に搬送されたが、災害発生当日の午後4時30分頃死亡した。	農業	はさまれ・巻き込まれ	その他の一般動力 一般機械

## 平成29年死亡災害事例（建設業）

平成29年9月30日現在  
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 店社人数・現場人数	年齢 性別 職種	災害のあらまし	発注者	事故の 型別	起因物別
1	7月  15時頃  5人	40歳代 男 鳶工	高速道路の橋梁補修工事で使用されていた、地上約33mの高さに設置されていたつり足場の解体作業中、足場用つりチェーンのクランプがはずれ、足場板が傾き、足場板の上に載っていた被災者が33m下の地面に墜落し死亡した。	民間	墜落・転落	足場
2	9月  8時頃  35人	70歳代 男 作業員	高さ約10mに積まれた残土の上にドラグ・ショベルで上がり整地作業中、ドラグ・ショベルが土砂に埋まり傾き転倒し、被災者が運転席から投げ出されドラグ・ショベルの下敷きとなり死亡した。	公団	転倒	車両系建設 機械